

銅直 勇先生 年譜

明治二十二年六月十五日

本籍 東京都世田谷区成城一丁目三十三番ノ十五

旧本籍 大分県西国東郡高田町字玉津

大分県宇佐郡長州町にて出生。父銅良蔵、母ツギの二男。

のち実母の生家銅直家を継ぐ。養父（叔父）網吉、養母き久。

大分県宇佐郡長州尋常小学校入学。

熊本市碩台尋常小学校卒業。

熊本市熊本高等小学校入学。

同高等小学校三学年修了。

熊本県立中学済々黌入学。

同校卒業。

広島高等師範学校（国語漢文部）入学。

同校卒業。

和歌山県立粉河中学校教諭。

同校教諭を退任。

広島高等師範学校専攻科入学。

明治二十七年四月

明治三十一年三月

明治三十一年四月

明治三十四年三月

明治三十四年四月

明治三十九年三月

明治四十一年四月

明治四十五年三月

明治四十五年四月

大正三年三月

大正三年四月

大正三年九月

同校退学。

大正三年九月

京都帝国大学文科大学哲学科（社会学専攻）入学。

米田庄太郎教授、内田銀蔵教授の指導をうく。

大正六年七月

同大学卒業（文学士）。

大正七年十一月

京都市勸業課救済係長。同市社会事業創設に当る。

大正八年五月

京都市主事、同職を退任。

大正八年三月

大原社会問題研究所研究嘱託。「日本労働問題史」編集を担当。

大正八年七月

倉敷紡績株式会社社重役秘書室勤務。労働関係の企画調査に従事。

大正十年三月

京都帝国大学大学院に入学。

西田幾多郎教授、米田庄太郎教授の指導をうく。

大正十一年四月

龍谷大学講師（担当科目 社会学概論及び特論）。

大正十四年三月

京都帝国大学大学院退学。

大正十四年三月

龍谷大学講師を退任。

大正十四年四月

日本大学法文学部講師（担当科目 社会学特論、同演習、並に日本社会経済史）。

大正十五年三月

成城高等学校教授ならびに同高等科部長（担当科目 哲学概論、日本歴史、法制経済

等）。

昭和五年十二月

社会経済史学会創立発起人、同学会評議員。

昭和八年一月

教育取調のため成城学園より欧州諸国に出張。

昭和八年七月

校務のため帰朝を命ぜられる。

昭和 八年 八月

財団法人成城学園理事。

昭和 九年 四月

成城高等学校校長、成城高等女学校校長、成城小学校校長、成城幼稚園長。

昭和 十三年 三月

日本大学法文学部講師を退任。

昭和 十八年 三月

成城学園理事、成城高等学校校長、成城高等女学校校長、成城小学校校長、成城幼稚園長を退任。

昭和 十八年 四月

熊本師範学校校長（高等官二等正五位）。

昭和 二十四年 五月

制度改正により熊本師範学校校長を退任。

昭和 二十四年 五月

横浜国立大学学芸学部部長、同教授を命ぜられる（担当科目 社会学概論、社会学特殊講義、演習）。

昭和 二十六年 四月

神奈川県教育研究所長（兼任）。

昭和 二十七年 三月

同所長を辞任。

昭和 二十九年 四月

停年規定により横浜国立大学学芸学部部長を退任。

昭和 二十九年 四月

日本大学文学部兼任教授（担当科目 大学院修士課程社会学）。

昭和 三十年 四月

共立女子大学講師（兼任）。

昭和 三十三年 三月

横浜国立大学教授を停年規定により退任。

昭和 三十三年 三月

日本大学文学部兼任教授を退任。

昭和 三十三年 四月

日本大学文学部教授（担当科目 大学院修士課程社会学）。

昭和 三十七年 三月

日本大学文学部教授を退任。

昭和 三十七年 四月

日本大学人文科学研究所教授（担当科目 大学院修士課程社会学）。

昭和三十八年 四月

日本大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程開設に伴い、同課程担当（担当科目社会学）。

昭和三十九年 三月

日本大学人文科学研究所教授を停年規定により退任。

昭和三十九年 四月

明星大学教授（担当科目 社会学）。

昭和四十年 四月

明星大学人文学部社会学科開設に伴い、同学科主任教授（担当科目 社会学概論、社会学演習等）。

昭和四十年十一月

勲三等瑞宝章を授与せられる。

昭和四十三年 四月

明星大学人文学部長。

昭和四十六年 四月

明星大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程開設に伴い、同課程担当（担当科目社会学理論特講、社会学演習）。

昭和五十一年 四月

明星大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程開設に伴い、同課程担当（担当科目社会学特殊研究）。

昭和五十二年 三月

明星大学人文学部社会学科主任教授を退任。

昭和五十三年 三月

明星大学教授兼人文学部長を退任。

昭和五十四年七月二十二日

逝去、享年満九十歳。